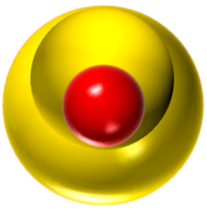
2026年度

認 定 看 護 師 教 育 課 程

特定行為研修を組み込んでいる
教育課程（Ｂ課程）

募集要項



公益社団法人日本看護協会

看 護 研 修 学 校

入学試験に関する問合せ先

公益社団法人日本看護協会　看護研修学校　総務管理部教務課

〒204-0024　東京都清瀬市梅園1-2-3

TEL：042-492-7464　　E-mail:ky-kyomu@nurse.or.jp

目次

【認定看護師教育課程の特徴】 1
【修業年限】 1
【募集学科・募集人数】 1
【年間予定】 2
【教育理念】 3
【教育目的】 3
Ⅰ．入学試験要項 4
1．入学試験日程と試験内容 4
2．出願資格 4
Ⅱ．出願手続 5
1．出願書類 5
2．出願手続き・受付期間 5
3．入学検定料 5
4．受験票の送付 6
5．個人情報の利用目的 6
6．履修免除について 6
Ⅲ．入学選考 6
Ⅳ．合格発表 6
Ⅴ．入学手続等 7
1．納付金 7
2．注意事項 7
3．費用の補助制度 7
Ⅵ．卒業要件 8
Ⅶ．情報開示 8
1．入学試験成績に関する情報開示 8
2．過去の入学試験問題（筆記試験）及び志願倍率 9
Ⅷ．学科別選抜要項及びカリキュラム概要 10
1．クリティカルケア学科 11
2．皮膚・排泄ケア学科 13
3．感染管理学科 15
4．糖尿病看護学科 17
5．認知症看護学科 19
試験会場案内 21

2026年度
公益社団法人日本看護協会　看護研修学校
認 定 看 護 師 教 育 課 程
特 定 行 為 研 修 を 組 み 込 ん で い る
教 育 課 程 （ Ｂ 課 程 ）

【認定看護師教育課程の特徴】

当課程は特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて看護実践ができ、他の看護職者のケア技術の向上に資する認定看護師を育成することを目的に充実した教育を行っています。本校は 5 学科（5 分野）の学生が一堂に会し交流する環境があるため、他分野の認定看護師の役割を理解し、自身が目指す分野の専門性を見つめなおす機会となっています。

【修業年限】

１年

【募集学科・募集人数】

クリティカルケア学科　30名
皮膚・排泄ケア学科　30名
感染管理学科　30名
糖尿病看護学科　30名
認知症看護学科　30名

各学科のカリキュラムに以下の特定行為研修（特定行為区分）を組み込んでいます。

特定行為区分	クリティカルケア学科	皮膚・排泄ケア学科	感染管理学科	糖尿病看護学科	認知症看護学科
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	○	○	○	○	○
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	○				
循環動態に係る薬剤投与関連	○				
創傷管理関連		○			
感染に係る薬剤投与関連			○		
血糖コントロールに係る薬剤投与関連				○	
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連					○

【年間予定】

2026年	4月上旬	入学式
	4月上旬～7月	eラーニング授業※1
	8月～10月頃	集合教育（クリティカルケア学科は7月より）
	10月頃～12月頃	臨地実習※2
2027年	12月～1月	統合演習
	1月～3月	課題学習・補講・修了試験
	3月	卒業式

※1 e ラーニング授業の期間中に、筆記試験、演習、実習のため登校日を 5 月から 7 月に各 3 日間程度予定しています。

※2 臨地実習は原則、実習施設要件を満たした他施設で行います。なお、認定看護分野臨地実習と特定行為区分の実習は同一施設または 2～3 か所の施設で行う場合があります。実習施設は遠方の施設が含まれることもあります。

【教育理念】

日本看護協会看護研修学校は、変化する保健医療福祉環境のなかで、「患者中心の志向」「知識と経験を融合した高い看護実践力」「専門性の追求と臨床に役立つ人材」をもとにして、特定分野における質の高い看護ケアを提供する認定看護師教育を目指します。

【教育目的】

特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて看護実践ができ、他の看護職者のケア技術の向上に資する認定看護師を育成することを目的としています。

認定看護師教育課程の 3 つのポリシー

Ⅰ．卒業認定の方針　（ディプロマ・ポリシー）

教育目標に沿って設定した教科目を履修し所定の単位を修得するとともに、特定の看護分野において、熟練した看護技術を用いて、あらゆる場で看護を必要とする人に、水準の高い看護を実践するために次の能力を身に付けた者に対し、認定看護師教育課程修了を認定する。

1．特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する能力を修得した者
2．特定の看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える者
3．特定の看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える者
4．特定の看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる者

Ⅱ．教育実施の方針　（カリキュラム・ポリシー）

認定看護師教育課程のディプロマ・ポリシーを達成するために、以下に示す方針に基づいて教科目を共通科目、専門科目（認定看護分野専門科目、特定行為研修区分別科目）、統合演習、臨地実習から構成する。また、学修成果を適切に評価する。

1．あらゆる場で看護を必要とする個人、家族及び集団に対して、それぞれの健康レベルに応じて、エビデンスに基づいた看護を安全に実施するために必要となる知識・技術を身につけるための授業科目を系統的に配置する。
2．認定看護師として水準の高い看護を実践するために、臨床推論力、病態判断力を強化した教育を行う。
3．実習や統合演習を通して、関連分野の人々と協働し、保健医療チームの一員として多様な職種と連携することができる教育を重視する。
4．学修成果の評価は、授業の進度に合わせシラバスに明示された学修目標に基づく筆記試験・レポート、客観的臨床能力試験（OSCE）、実習評価等を含め、総合的評価を行う。

Ⅲ．研修受け入れの方針　（アドミッション・ポリシー）

認定看護師教育課程の教育理念及び教育目標に賛同し、特定の看護分野において、その一翼を担おうとする意欲のある人材を受け入れる。最大限妥当かつ公平な方法によって選抜する。

学生受け入れの方針として、以下は全分野共通の事項とし、その他の要件については、分野ごとに定める。

1．倫理観に基づきケアの受け手に合う個別的な看護を実践している人
2．所属する職場で、協働による組織的役割を担う意思を有する人
3．看護チームでは、チームリーダーやコーディネーター、相談に応じる役割を遂行している人
4．自己の学修活動に積極的に取り組むとともに、新卒看護師や看護学生に対する指導的な役割を実践している人

Ⅰ. 入学試験要項

1. 入学試験日程と試験内容

1）入学試験日程

日程	予定	試験中止が発生した場合	
11月5日（水）	【筆記試験】	中止の場合	【筆記試験】
11月6日（木）	【面接試験】	【筆記試験】	中止の場合
11月7日（金）	【面接試験予備日】	【面接試験】	【面接試験】

2）試験内容

	試験内容	時間
1日目	筆記試験Ⅰ（マークシート方式）	専門科目（90分）
	筆記試験Ⅱ（記述）	小論文　（60分）
2日目	面接試験（対面）	1人10分程度

○筆記試験及び面接試験は本校（東京都清瀬市梅園1-2-3）で実施します。
○専門科目はマークシート方式のため、記入用のHB又はBの鉛筆をご準備ください。
　鉛筆削りは使用できません。必要な本数をお持ちください。
○面接試験の集合時間は、筆記試験日にお知らせします。
○天災や交通障害等によりやむを得ず試験中止が発生した場合は、面接を試験予備日
　に実施します。対象者にはメールで連絡します。
○その他詳細は受験票送付時にお知らせします。

2. 出願資格

出願にあたっては、次の各項に定める要件をすべて満たしていること

1）高等学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した者、または文部科学大臣の定めるところによりこれに準ずる学力があると認められた者
2）日本国の看護師免許を有する者
3）看護師免許を取得後、通算5年以上[注1)]の実務研修[注2)]をしていること
4）その他10ページ以降にある学科別選抜要項に示す看護分野の実務研修[注3)]を有すること

注1) 2025年8月31日時点で看護実務経験が60か月以上であることを意味する。

注2) 実務研修とは、看護実務経験を意味する。2007年7月に厚生労働省によって認定看護師が専門性の広告を認可された際､認定看護師の要件に実務研修という表現を使うことが決定した。

注3) 学科別要件で指定されている看護実務経験を意味し、通算3年以上が必要となる｡ただし、通算3年以上とは、2025年8月31日時点で通算36か月以上を意味する。

Ⅱ. 出願手続

1. 出願書類

出願書類一式は、日本看護協会ホームページからダウンロードしてください。
https://www.nurse.or.jp/nursing/nintei/prospectus/index.html#document_kiyose

2. 出願手続き・受付期間

専用 web システムへ登録する
登録期間：2025 年 9 月 1 日（月）10：00 ～ 2025 年 9 月 17 日（水）15：00
ホームページから下記の専用フォームにアクセスし登録してください。
https://www.nurse.or.jp/nursing/nintei/prospectus/index.html#document_kiyose

↓

web 登録後に送信される電子メールを受信する
※システム登録完了後、24 時間以内に電子メールが届かない場合は問合せ先に連絡してください。

↓

電子メールに記載された「受付番号」を出願書類（様式 1、7 の web 受付番号欄）に記載する

電子メールに記載された「口座番号」に検定料を振込む

↓

出願書類（様式 7）に振込元口座の銀行名・支店名・振込日を記載する

↓

出願書類一式を郵送する

受付締切：2025 年 9 月 19 日（金）　当日消印有効
郵送方法：レターパックプラス（赤色）／「品名」欄に『学科名』を記載
＜提出先＞　〒204-0024　東京都清瀬市梅園 1-2-3
公益社団法人日本看護協会　看護研修学校　総務管理部教務課
留意事項：①学科により出願書類が異なるため 10 ページ以降の内容を確認してください。
②出願書類は返却いたしません。
③出願書類に不備がある場合は受付できません。

3. 入学検定料

1）入学検定料　50,000円
2）納付期限及び振込先
専用webシステムから送信されるメールにて振込期限及び振込先が通知されます。
※口座番号は登録者に固有の識別番号となっているため、他の方は使用できません。
3）注意事項
・振込手数料は受験者の負担とします。
・既納の入学検定料は、誤って二重に振り込まれた場合、その他校長が特別に認めた場合を除き、返還できません。
・銀行で発行される利用明細書をもって本校の領収書とします。

4. 受験票の送付

出願書類を審査の上、受験が認められた者に対して10月中旬までに受験票と入学試験の詳細を記した文書等を郵送します。
2025年10月22日（水）までに受験票が届かない場合はメールにてお問合せください。

5. 個人情報の利用目的

本校では「公益社団法人日本看護協会個人情報保護規則及び細則」に基づき、個人情報の取得・利用を適正に行います。
＜参照先＞「公益社団法人日本看護協会　個人情報保護方針」
https://www.nurse.or.jp/privacy/
出願書類により取得した個人情報は以下の業務に利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

- 入学試験（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理、合格発表、通知等）に関する業務、入学手続きに関する業務及び付随する業務
- 入学に伴う事務（学籍管理、就学管理）、学生支援事務（健康管理、奨学金申請等）、授業料の収納事務及び付随する業務

6. 履修免除について

本校入学前に特定行為研修を修了した方で、所定の手続きを経て本校が認めた場合には、教育課程の一部を履修したものとみなし、当該科目の授業料を減免します。
履修免除の対象は下記のとおりです。
特定行為研修
・「共通科目」
・「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」
履修免除を希望する方は、ホームページに掲載の申請書を出願書類一式に同封してください。
https://www.nurse.or.jp/nursing/nintei/prospectus/index.html#document_kiyose

Ⅲ. 入学選考

入学選考は研修受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき行います。
選考方法は筆記試験（マークシート方式・記述）、面接試験により実施し、その成績を入学試験審査会において審議し決定します。

Ⅳ. 合格発表

2025年12月5日（金）に合格者の受験番号をホームページ上で公開します。
https://www.nurse.or.jp/nursing/nintei/prospectus/index.html#document_kiyose
同日、合格者及び繰上げ合格候補者本人宛に通知を発送します。
不合格者への郵送による通知はありません。

Ⅴ. 入学手続等

1. 納付金

入学金		一般価格　75,000 円 会員価格　50,000 円
		総額
授業料	クリティカルケア学科	一般価格　1,774,000 円（1,033,600 円） 会員価格　1,120,000 円（　652,800 円）
	皮膚・排泄ケア学科	一般価格　1,611,000 円（　841,700 円） 会員価格　1,017,000 円（　531,600 円）
	感染管理学科	一般価格　1,578,000 円（　809,400 円） 会員価格　997,000 円（　511,200 円）
	糖尿病看護学科	一般価格　1,575,000 円（　777,100 円） 会員価格　994,000 円（　490,800 円）
	認知症看護学科	一般価格　1,609,000 円（　839,800 円） 会員価格　1,016,000 円（　530,400 円）

※1　総額のうち特定行為研修の受講料（　）に表記しています。
※2　本校は専修学校の認可を受けているため納付金は非課税です。
※3　会員価格は、出願時及び入学年度に日本看護協会の会員かつ会費納入を完了した場合に適用されます。
※4　納付金の納入期限は、2026年1月5日（月）を予定しています。

2. 注意事項

1）納付金は全納のみとします。
2）納付金は返金できません（但し、二重振込や入学予定年度の開始前に辞退の連絡があった場合を除く）。
3）履修免除が決定した方は、履修免除科目の授業料が減免されます。
4）その他詳細は合格通知時にお知らせします。
5）通学、実習のための滞在費・交通費（2ページ※2参照）、パソコン等の機器・通信費、書籍等の教材費、その他学修に必要な費用は、別途自己負担となります。

3. 費用の補助制度

本校は以下の制度が利用できます。手続等の詳細は各ホームページを参照してください。

【個人対象】

◇独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度（貸与型）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido

◇公益社団法人日本看護協会　認定看護師教育課程奨学金（貸与型／無利子）
https://www.nurse.or.jp/nursing/scholarship_subsidy/scholarship/scholarship_nintei

◇東京都育英資金（貸与型／無利子）
https://www.shigaku-tokyo.or.jp/pa_ikuei/

Ⅵ. 卒業要件

卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、以下を満たした場合に修了を認めます。

1）出席時間
- ・科目ごとに履修すべき時間数の 5 分の 4 以上の出席をすること。
- ・特定行為研修に係る授業は、そのすべてに出席すること。
- ・授業方法が遠隔授業によるときは、各教科目における指定教材をすべて視聴したことをもって出席したものとみなす。

2）科目修得の認定

所定の科目を履修し試験に合格すること。かつ、すべての科目(実習を含む)を修得すること。

3）修了試験

修了試験に合格すること。修了試験の受験には、すべての科目（演習、実習を含む）において修得が認められていること。出題範囲は、共通科目、認定看護分野専門科目、特定行為研修区分別科目、統合演習、臨地実習を含む全科目となる。修了試験は筆記試験によって行う。総合点で 8 割以上が合格となる。

Ⅶ. 情報開示

1. 入学試験成績に関する情報開示

入学試験の不合格者を対象に入学試験成績に関する情報（受験学科の平均点及び合格最低点、本人の得点）を郵送にて開示します。
開示請求をされる場合は下記の要領で申請してください。(申請書は1月下旬にホームページへ掲載予定)

・申請期間:2026年2月2日（月）～2月12日（木）消印有効
・請求方法：

1)レターパックライト（青色）にて下記3点を郵送

①申請書
②受験票（原本）
③返信用レターパックライト（青）(宛名記入済み)

＜送付先＞　〒204-0024　東京都清瀬市梅園1-2-3
公益社団法人日本看護協会　看護研修学校　総務管理部教務課

2)費用振込

事務手数料500円を2月12日（木）までに下記口座へ振込むこと

［振込先］

金融機関名：三井住友銀行　　支店名：東京公務部
預金種目：普通　　口座番号：0163544
口座名義：公益社団法人日本看護協会看護研修学校認定教育口
（シャ）　（ニホンカンゴキョウカイカンゴケンシュウガッコウニンテイキョウイクグチ）

［振込依頼人名］

以下の順に入力してください　※手数料は振込人負担
- ・受験学科（数字で記入、右表参照）
- ・受験申込者名
- ・日中連絡がとれる電話番号（ハイフン不要）

例:清瀬太郎さん(090-1111-2222)が感染管理学科を受験した場合、振込依頼人名の記入は「3キヨセタロウ09011112222」

受験学科	番号
クリティカルケア	1
皮膚・排泄ケア	2
感染管理	3
糖尿病看護	4
認知症看護	5

2. 過去の入学試験問題（筆記試験）及び志願倍率

日本看護協会会員の方は以下の方法により、無料で閲覧及びダウンロードができます。
公開は2026年3月を予定しています。

日本看護協会公式サイトの会員マイページ「キャリナース」内
　資料室＞入学試験問題

Ⅷ. 学科別選抜要項及びカリキュラム概要

次頁以降は、各学科の選抜要項及びカリキュラム概要です。
（学科により内容が異なりますのでご注意ください）

全学科の「共通科目」380 時間中 335 時間分のカリキュラムはｅラーニングで履修します。
ｅラーニング授業の特徴等については次のとおりです。

＜ｅラーニングとは＞
ご自分のパソコン、タブレット、スマートフォンを使い、通学することなく、本校のｅラーニングコンテンツを使用し学ぶ学修形態のことです。時間や場所を選ばずに学修することが可能です。
本校のｅラーニングコンテンツは、各専門分野の第一線で活躍している講師による実践的な内容で、日本看護協会で独自に制作したものです。

特徴１　インターネット環境があれば、自宅、職場どこでも学修ができます
特徴２　都合の良い時間に自分のペースで学修ができます
特徴３　受講期間中は何度でも繰返し学修ができます
特徴４　教員との双方向のやり取りが可能です

＜ｅラーニング授業期間中のサポート＞
- ｅラーニングを視聴してわからないことや疑問点は、いつでも配信システムを通じて各学科の担当教員に質問ができます。
- ｅラーニング期間の学修計画を作成するので、無理なく計画的に学修ができます。
- ｅラーニング期間中に、筆記試験、演習、実習のために 3 日間程度の登校日を 3 回設けています。自分の理解度を確認でき評価により課題が明確になります。また、本格的な講義・実習に向けて同じ学科の学生同士でサポートし合う機会となります。

1. クリティカルケア学科

1) 選抜要項

<table>
<tr><td>実務研修内容</td><td colspan="2">1)通算3年以上、クリティカルケア部門(救急・集中治療部門等。ただし、手術室・NICUは除く)での看護実績を有すること。
2)疾病、外傷、手術などにより高度な侵襲を受けた患者の看護を5例以上担当した実績(生命維持装置(人工呼吸器等)を装着した患者の看護を1例以上含む)を有すること。
3)現在、クリティカルケア部門で勤務していることが望ましい。
4)救急蘇生(二次救命処置等)に関する知識・技術を有することが望ましい。</td></tr>
<tr><td>出願書類</td><td colspan="2">1)入学願書（様式1）
2)履歴書（様式2）
3)実務研修報告書（様式3-クリ）
4)勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4）
5)クリティカルケア事例実績証明（様式5-クリ1）
クリティカルケア事例要約（様式5-クリ2）
6)受験票（様式6）
7)看護師免許証の写し
（A4判に縮小したもの、モノクロ、裏面に記載のある方のみ両面コピー）
8)履歴書用写真（1枚）及び受験票用写真（2枚)。3枚とも同じものを使用すること。
9)振込通知書（様式7）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験内容</td><td>専門科目</td><td>・ 解剖生理､生体侵襲､フィジカルアセスメント等に関する基礎的知識を問う。
・ 急性期にある患者の病態と治療、ケア等に関する専門的知識を問う。
・ 看護展開や問題解決に必要となる論理的思考を問う。</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>・ 看護に対する考え方、論理的思考を問う。</td></tr>
</table>

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

① クリティカルケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論能力と病態判断能力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる力を育成する。

② クリティカルケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ クリティカルケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ クリティカルケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) カリキュラム

科目名		教科目名		時間数		小計
共通科目		1	臨床病態生理学	40	※	380
		2	臨床推論	45	※	
		3	臨床推論:医療面接	15	※	
		4	フィジカルアセスメント:基礎	30	※	
		5	フィジカルアセスメント:応用	30	※	
		6	臨床薬理学:薬物動態	15	※	
		7	臨床薬理学:薬理作用	15	※	
		8	臨床薬理学:薬物治療・管理	30	※	
		9	疾病・臨床病態概論	40	※	
		10	疾病・臨床病態概論:状況別	15	※	
		11	医療安全学:医療倫理	15	※	
		12	医療安全学:医療安全管理	15	※	
		13	チーム医療論(特定行為実践)	15	※	
		14	特定行為実践	15	※	
		15	指導	15		
		16	相談	15		
		17	看護管理	15		
専門科目	認定看護分野 専門科目	1	クリティカルケア看護概論	15		180
		2	主要病態とケア	45		
		3	患者及び家族の心理・社会的アセスメント	15		
		4	救急初期対応技術	45		
		5	合併症及び機能低下の予防技術	30		
		6	対象に応じた指導・相談技術	15		
		7	クリティカルケアにおけるチーム医療	15		
	特定行為研修 区分別科目	1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	※	99
		2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	39	※	
		3	循環動態に係る薬剤投与関連	38	※	
演習・実習	統合演習			15		275
	臨地実習(認定分野)			150		
	実習(特定行為区分)			110	※	
合計時間数				934		934

・ ※印は特定行為研修の時間数です。
・ 表中では45分を1単位時間としています。

2. 皮膚・排泄ケア学科

1）選抜要項

<table>
<tr><td>実務研修内容</td><td colspan="2">1)通算3年以上、皮膚・排泄ケア領域における看護実績を有すること。
2)皮膚・排泄ケア領域における看護を5例以上担当した実績を有すること。ただし、創傷、ストーマ、排泄管理の事例を各1例以上含むこと。
3)現在、皮膚・排泄ケア領域における看護を行う臨床現場に勤務していることが望ましい。</td></tr>
<tr><td>出願書類</td><td colspan="2">1)入学願書（様式1）
2)履歴書（様式2）
3)実務研修報告書（様式3-皮）
4)勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4）
5)皮膚・排泄ケア領域における事例実績証明（様式5-皮1）
皮膚・排泄ケア領域における事例要約（様式5-皮2）
6)受験票（様式6）
7)看護師免許証の写し
（A4判に縮小したもの、モノクロ、裏面に記載のある方のみ両面コピー）
8)履歴書用写真（1枚）及び受験票用写真（2枚）。3枚とも同じものを使用すること。
9)振込通知書（様式7）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験内容</td><td>専門科目</td><td>・ 皮膚・排泄ケア領域において必要となる解剖生理、病態と治療に関する基礎的知識を問う。
・ 皮膚・排泄ケア領域における看護ケアの専門的知識を問う。
・ 皮膚・排泄ケア領域の対象事例に関する看護展開や問題解決に必要となる論理的思考を問う。</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>・ 看護に対する考え方、論理的思考を問う。</td></tr>
</table>

2）カリキュラム概要

（1）教育目的

① 皮膚・排泄ケア分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② 皮膚・排泄ケア分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ 皮膚・排泄ケア分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ 皮膚・排泄ケア分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) カリキュラム

科目名		教科目名		時間数		小計
共通科目		1	臨床病態生理学	40	※	380
		2	臨床推論	45	※	
		3	臨床推論:医療面接	15	※	
		4	フィジカルアセスメント:基礎	30	※	
		5	フィジカルアセスメント:応用	30	※	
		6	臨床薬理学:薬物動態	15	※	
		7	臨床薬理学:薬理作用	15	※	
		8	臨床薬理学:薬物治療・管理	30	※	
		9	疾病・臨床病態概論	40	※	
		10	疾病・臨床病態概論:状況別	15	※	
		11	医療安全学:医療倫理	15	※	
		12	医療安全学:医療安全管理	15	※	
		13	チーム医療論(特定行為実践)	15	※	
		14	特定行為実践	15	※	
		15	指導	15		
		16	相談	15		
		17	看護管理	15		
専門科目	認定看護分野 専門科目	1	皮膚・排泄ケア概論	15		195
		2	皮膚のアセスメントとケア	30		
		3	精神面のアセスメントとケア	15		
		4	排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価	15		
		5	排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価	15		
		6	ストーマの管理	30		
		7	排泄障害の管理	30		
		8	創傷のアセスメントと管理	45		
	特定行為研修 区分別科目	1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	※	68
		2	創傷管理関連	46	※	
演習・実習	統合演習			15		205
	臨地実習(認定分野)			150		
	実習(特定行為区分)			40	※	
合計時間数				848		848

・ ※印は特定行為研修の時間数です。
・ 表中では45分を1単位時間としています。

3. 感染管理学科

1）選抜要項

<table>
<tr><td>実務研修内容</td><td colspan="2">1)通算 3 年以上、感染管理に関わる活動実績（感染対策委員会、ICT、リンクナース会等）を有すること。
2)感染予防・管理等において自身が実施したケア等の改善実績を１事例以上有すること。
3)医療関連感染サーベイランス実施における一連の流れを理解していることが望ましい。
4)現在、医療施設等において、専任または兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。</td></tr>
<tr><td>出願書類</td><td colspan="2">1)入学願書（様式1）
2)履歴書（様式2）
3)実務研修報告書（様式3-感）
4)勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4）
5)感染予防・管理の活動実績事例要約（様式5-感）
6)受験票（様式6）
7)看護師免許証の写し
（A4判に縮小したもの、モノクロ、裏面に記載のある方のみ両面コピー）
8)履歴書用写真（1枚）及び受験票用写真（2枚）。3枚とも同じものを使用すること。
9)振込通知書（様式7）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験内容</td><td>専門科目</td><td>・ 感染症の病態・生理、治療及び診断に関する基礎的知識を問う。
・ 感染予防と管理に関する基本的知識を問う。
・ 感染予防と管理に関する設定状況における感染管理活動の展開能力や問題解決に必要となる論理的思考を問う。</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>・ 看護に対する考え方、論理的思考を問う。</td></tr>
</table>

2）カリキュラム概要

（1）教育目的

① 感染管理分野において、個人、家族及び集団に対して、医療関連感染予防のための高度な管理力及び高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② 感染管理分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ 感染管理分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ 感染管理分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) カリキュラム

科目名		教科目名		時間数		小計
共通科目		1	臨床病態生理学	40	※	380
		2	臨床推論	45	※	
		3	臨床推論:医療面接	15	※	
		4	フィジカルアセスメント:基礎	30	※	
		5	フィジカルアセスメント:応用	30	※	
		6	臨床薬理学:薬物動態	15	※	
		7	臨床薬理学:薬理作用	15	※	
		8	臨床薬理学:薬物治療・管理	30	※	
		9	疾病・臨床病態概論	40	※	
		10	疾病・臨床病態概論:状況別	15	※	
		11	医療安全学:医療倫理	15	※	
		12	医療安全学:医療安全管理	15	※	
		13	チーム医療論(特定行為実践)	15	※	
		14	特定行為実践	15	※	
		15	指導	15		
		16	相談	15		
		17	看護管理	15		
専門科目	認定看護分野 専門科目	1	感染管理学	15		195
		2	疫学・統計学	30		
		3	微生物学	30		
		4	医療関連感染サーベイランス	45		
		5	感染防止技術	30		
		6	職業感染管理	15		
		7	感染管理指導と相談	15		
		8	洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・マネジメント	15		
	特定行為研修 区分別科目	1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	※	61
		2	感染に係る薬剤投与関連	39	※	
演習・実習	統合演習			15		195
	臨地実習(認定分野)			150		
	実習(特定行為区分)			30	※	
合計時間数				831		831

・ ※印は特定行為研修の時間数です。
・ 表中では45分を1単位時間としています。

4. 糖尿病看護学科

1) 選抜要項

実務研修内容	1)通算3年以上、糖尿病患者の多い病棟、または外来・在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2)インスリン療法を行っている糖尿病患者または糖尿病合併症を有する患者の看護を合わせて5例※以上担当した実績(外来または在宅ケア領域での療養支援を1例以上含む)を有すること。 3)現在、糖尿病患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。 4)糖尿病及び糖尿病療養支援に関する知識を有し、糖尿病教室や公開講座などの患者教育を実施した実績があることが望ましい。 ※10例以上の経験があることが望ましい。ただし、教育課程への提出事例は5例でよい。	
出願書類	1)入学願書（**様式1**） 2)履歴書（**様式2**） 3)実務研修報告書（**様式3-糖**） 4)勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（**様式4**） 5)糖尿病看護事例実績証明（**様式5-糖1**） 糖尿病看護事例要約（**様式5-糖2**） 6)受験票（**様式6**） 7)看護師免許証の写し （A4判に縮小したもの、モノクロ、裏面に記載のある方のみ両面コピー） 8)履歴書用写真（1枚）及び受験票用写真（2枚)。3枚とも同じものを使用すること。 9)振込通知書（**様式7**）	
試験内容	専門科目	・ 糖尿病の病態・生理、治療及び診断に関する基礎的知識を問う。 ・ 糖尿病看護に関する基礎的知識を問う。 ・ 糖尿病患者の事例に関する看護展開や問題解決に必要となる論理的思考を問う。
	小論文	・ 看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

① 糖尿病看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。

② 糖尿病看護分野において､看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ 糖尿病看護分野において､看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ 糖尿病看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) カリキュラム

科目名		教科目名		時間数		小計
共通科目		1	臨床病態生理学	40	※	380
		2	臨床推論	45	※	
		3	臨床推論:医療面接	15	※	
		4	フィジカルアセスメント:基礎	30	※	
		5	フィジカルアセスメント:応用	30	※	
		6	臨床薬理学:薬物動態	15	※	
		7	臨床薬理学:薬理作用	15	※	
		8	臨床薬理学:薬物治療・管理	30	※	
		9	疾病・臨床病態概論	40	※	
		10	疾病・臨床病態概論:状況別	15	※	
		11	医療安全学:医療倫理	15	※	
		12	医療安全学:医療安全管理	15	※	
		13	チーム医療論(特定行為実践)	15	※	
		14	特定行為実践	15	※	
		15	指導	15		
		16	相談	15		
		17	看護管理	15		
専門科目	認定看護分野 専門科目	1	糖尿病看護概論	15		210
		2	糖尿病の病態及び糖尿病合併症の病態・治療	45		
		3	糖尿病患者の理解(ライフステージ)	15		
		4	糖尿病患者及び家族・重要他者への援助方法	30		
		5	糖尿病の治療法と生活調整・療養支援Ⅰ	30		
		6	糖尿病の治療法と生活調整・療養支援Ⅱ	15		
		7	糖尿病合併症の病期及び併存疾患に応じた生活調整・療養支援	30		
		8	血糖パターンマネジメント	15		
		9	フットケア技術	15		
	特定行為研修 区分別科目	1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	※	44
		2	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	22	※	
演習・実習	統合演習			15		195
	臨地実習(認定分野)			150		
	実習(特定行為区分)			30	※	
合計時間数				829		829

・ ※印は特定行為研修の時間数です。
・ 表中では45分を1単位時間としています。

5. 認知症看護学科

1）選抜要項

<table>
<tr><td>実務研修内容</td><td colspan="2">1)通算3年以上､認知症の人の多い施設(在宅ケア領域を含む）での看護実績を有すること。
2)認知症の人の看護を5例以上担当した実績を有すること。
3)現在、認知症の人の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等で認知症の人の看護実践に携わっていることが望ましい。</td></tr>
<tr><td>出願書類</td><td colspan="2">1)入学願書（様式1）
2)履歴書（様式2）
3)実務研修報告書（様式3-認）
4)勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4）
5)認知症看護事例実績証明（様式5-認1）
認知症看護事例要約（様式5-認2）
6)受験票（様式6）
7)看護師免許証の写し
（A4判に縮小したもの、モノクロ、裏面に記載のある方のみ両面コピー）
8)履歴書用写真（1枚）及び受験票用写真（2枚)。3枚とも同じものを使用すること。
9)振込通知書（様式7）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">試験内容</td><td>専門科目</td><td>・ 老年期の特性、認知症の病態・治療、保健･医療･福祉制度に関する基礎的知識を問う。
・ 認知症看護に関する専門的知識を問う。
・ 現場で遭遇することが予測される認知症の人への治療・看護の課題に関する看護展開の思考を問う。</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>・ 看護に対する考え方、論理的思考を問う。</td></tr>
</table>

2）カリキュラム概要

（1）教育目的

① 認知症看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する能力を育成する。

② 認知症看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。

③ 認知症看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。

④ 認知症看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(2) カリキュラム

科目名		教科目名		時間数		小計
共通科目		1	臨床病態生理学	40	※	380
		2	臨床推論	45	※	
		3	臨床推論:医療面接	15	※	
		4	フィジカルアセスメント:基礎	30	※	
		5	フィジカルアセスメント:応用	30	※	
		6	臨床薬理学:薬物動態	15	※	
		7	臨床薬理学:薬理作用	15	※	
		8	臨床薬理学:薬物治療・管理	30	※	
		9	疾病・臨床病態概論	40	※	
		10	疾病・臨床病態概論:状況別	15	※	
		11	医療安全学:医療倫理	15	※	
		12	医療安全学:医療安全管理	15	※	
		13	チーム医療論(特定行為実践)	15	※	
		14	特定行為実践	15	※	
		15	指導	15		
		16	相談	15		
		17	看護管理	15		
専門科目	認定看護分野 専門科目	1	認知症看護概論	30		195
		2	認知症の病態生理・臨床診断・治療	45		
		3	認知症看護における倫理	15		
		4	認知症の人とのコミュニケーション	15		
		5	認知症の人のケアマネジメント	45		
		6	認知症の人の生活機能の評価と支援	30		
		7	認知症の人の家族支援	15		
	特定行為研修 区分別科目	1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	※	57
		2	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	35	※	
演習・実習	統合演習			15		215
	臨地実習(認定分野)			150		
	実習(特定行為区分)			50	※	
合計時間数				847		847

・ ※印は特定行為研修の時間数です。
・ 表中では45分を1単位時間としています。

試験会場案内

◎筆記・面接試験会場

公益社団法人日本看護協会　看護研修学校（〒204-0024　東京都清瀬市梅園1-2-3）

※ 駐車場なし、公共交通機関を利用のこと

交通機関

1）西武池袋線　清瀬駅下車　南口より
- 徒歩12分
- 西武バス2番乗り場から乗車（全てのバス利用可）、「複十字病院」下車徒歩1分
- タクシー5分

2）JR武蔵野線　新秋津駅下車、タクシー10分

＜特定商取引法に基づく表記＞

販売事業者	公益社団法人日本看護協会　看護研修学校
運営統括責任者	会長　秋山智弥
所在地	〒204-0024　東京都清瀬市梅園 1-2-3
お問い合わせ先	Mail：ky-kyomu@nurse.or.jp　電話：042-492-7464 （受付時間：月曜日～金曜日 9 時～17 時　土日、祝日は休み）
入学検定料	募集要項（5 ページ）に記載
支払い方法	銀行振込
支払い期限	募集要項（5 ページ）に記載
入学検定料以外の必要料金	事務手数料
入学検定料の返還について	既納の入学検定料は、誤って二重に振り込まれた場合その他校長が特別に認めた場合を除き、返還できません。